

研究協力のお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学江東豊洲病院における潰瘍性大腸炎患者に対して施行した大腸ESDに関する後ろ向き研究	
1. 研究の対象および研究対象期間	2014年1月1日から2024年10月1日に昭和大学江東豊洲病院消化器センターで大腸粘膜下層剥離術(ESD)を行った潰瘍性大腸炎患者さん
2. 研究目的・方法	潰瘍性大腸炎(UC)は、慢性に炎症が続く大腸疾患であり、長期にわたる炎症が大腸癌のリスクを増加させることが知られています。従来、潰瘍性大腸炎患者に発生するがんの治療には外科的切除が一般的でしたが、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の技術進歩により、早期癌に対する内視鏡治療も行われています。しかしながら、UC患者では慢性炎症による癒痕形成や大腸粘膜の脆弱性があり、ESD施行時に技術的な困難や合併症のリスクが高まることが懸念されています。本研究は、潰瘍性大腸炎患者における大腸腫瘍に対するESDの安全性、効果、予後改善の効果を評価することを目的としています。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	患者背景(年齢、性別、体重、身長、既往歴、嗜好品、内服歴、処置を行った病変について(病変の部位・大きさ・病理結果)、合併症)、潰瘍性大腸炎の治療について(治療歴、罹患期間)
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません。
6. 研究組織	研究責任者 研究機関名 昭和大学江東豊洲病院 氏名 汐見 大二郎

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：消化器センター

氏名：汐見 大二郎

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6000（代表）